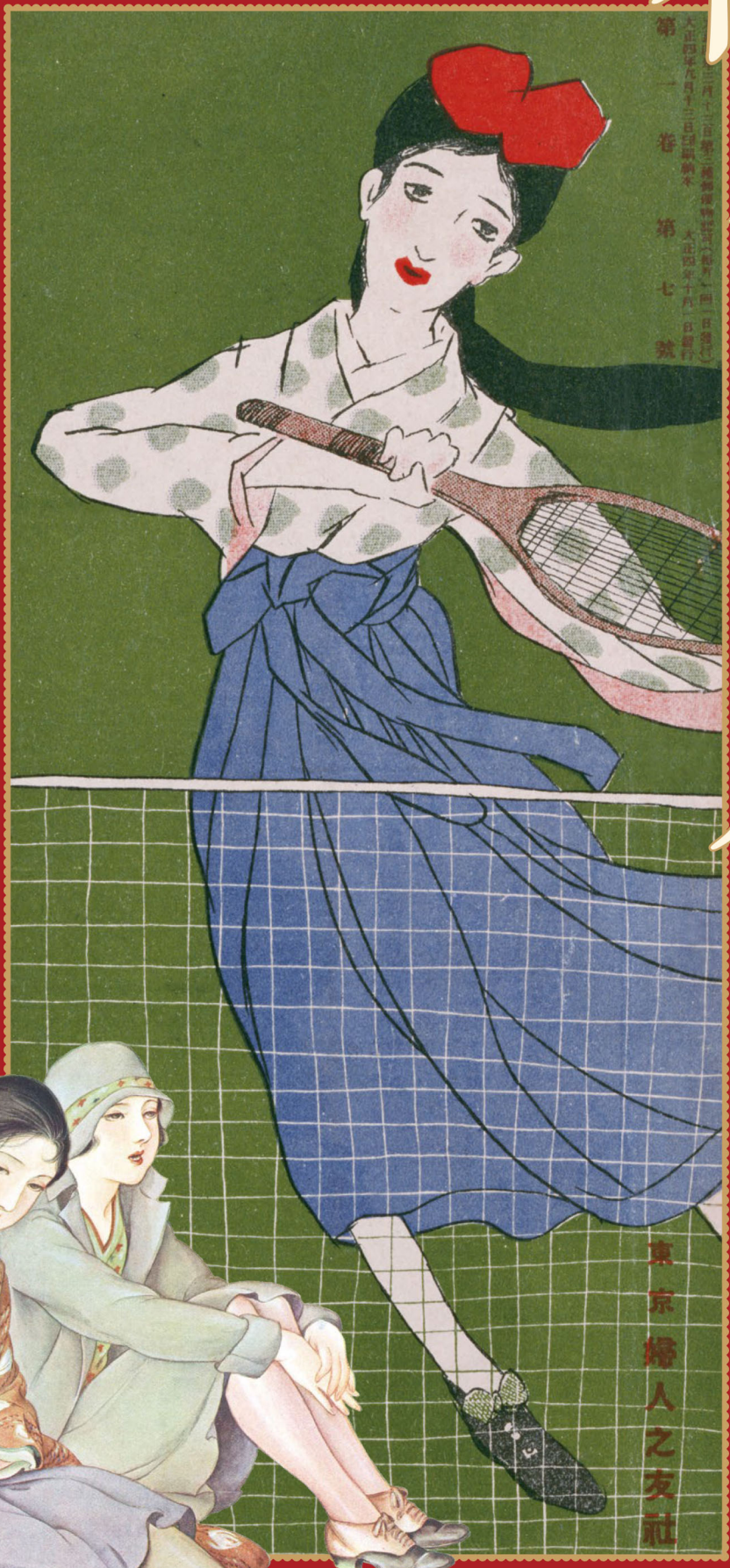
HAIKARA MODERN
HAKAMA STYLE

はいからモダン 袴スタイル展

「女袴」の近代、そして現代

1.7 TUE ➡ 3.29 SUN 2020



竹久夢二 「テニス」 大正4年（1915）

宝塚「緑の袴」も展示！

担当学芸員によるギャラリートーク

1／18（土）
2／9（日）
午後3時より
3／7（土）

今では女子大学生の卒業式のスタイルとして定着している女性の袴姿。宮中の装束に由来し、明治～昭和初期、およそ100年前には女学生の通学服として時代を象徴する装いであった袴は、現代においても魅力を放ち続けています。女性の袴が認められるまでには紆余曲折があり、また、袴は女学生だけでなくむしろより長く「働く女性」の装いでもあったことからは、ジェンダーレスで活動的な衣服としての側面もうかがえます。
和装から洋装へ移り行くはざまの短い期間に花開いた袴姿を、竹久夢二や高畠華宵が描いた絵、当時の雑誌、写真などの資料、さらに袴実物もまじえて展示し、その魅力や意義に迫ります。

高畠華宵 「春の丘」 昭和4年（1929）

竹久夢二美術館
〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2
TEL 03（5689）0462
開館時間 午前10時～午後5時（最終入館4時半まで）
休館日 月曜日
ただし1／13 2／24（月祝）開館、1／14 2／25（火）休館
入館料 一般900円／大・高生800円／中・小生400円
※弥生美術館も併せてご覧頂けます。
http://www.yayoi-yumeji-museum.jp

協力：跡見学園女子大学花蹊記念資料館 お茶の水女子大学歴史資料館 学習院大学史料館 京都丸紅株式会社 講談社 越原記念館（名古屋女子大学） 実践女子大学下田歌子記念女性総合研究所 末次由紀 玉川大学教育博物館 天真みちる 東京家政大学博物館 額波知子 古田和豊 大和和紀